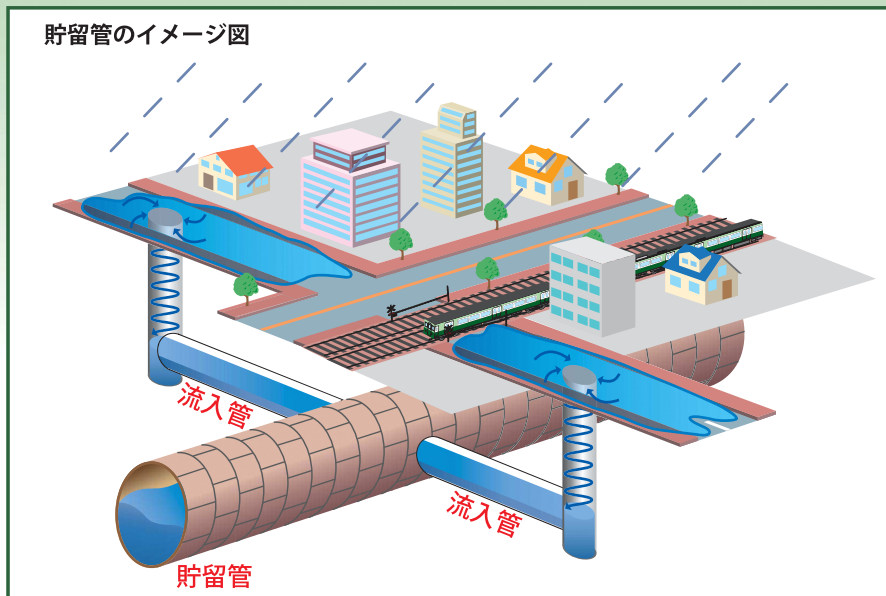
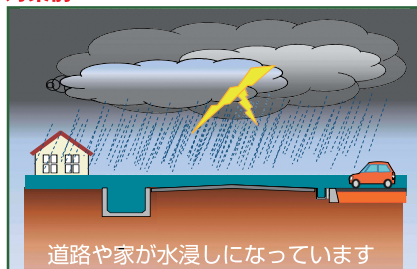


事業の効果

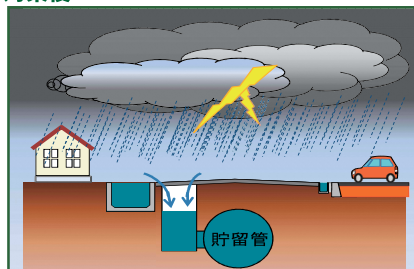
近年の局地的豪雨に対しては、雨水を一時的に貯留管などに貯めて雨がやんでから排水する雨水貯留施設の整備を行い、床上浸水や床下浸水などの浸水被害の軽減を図ります。



対策前



対策後



お問い合わせは  枚方市 上下水道局 上下水道事業部

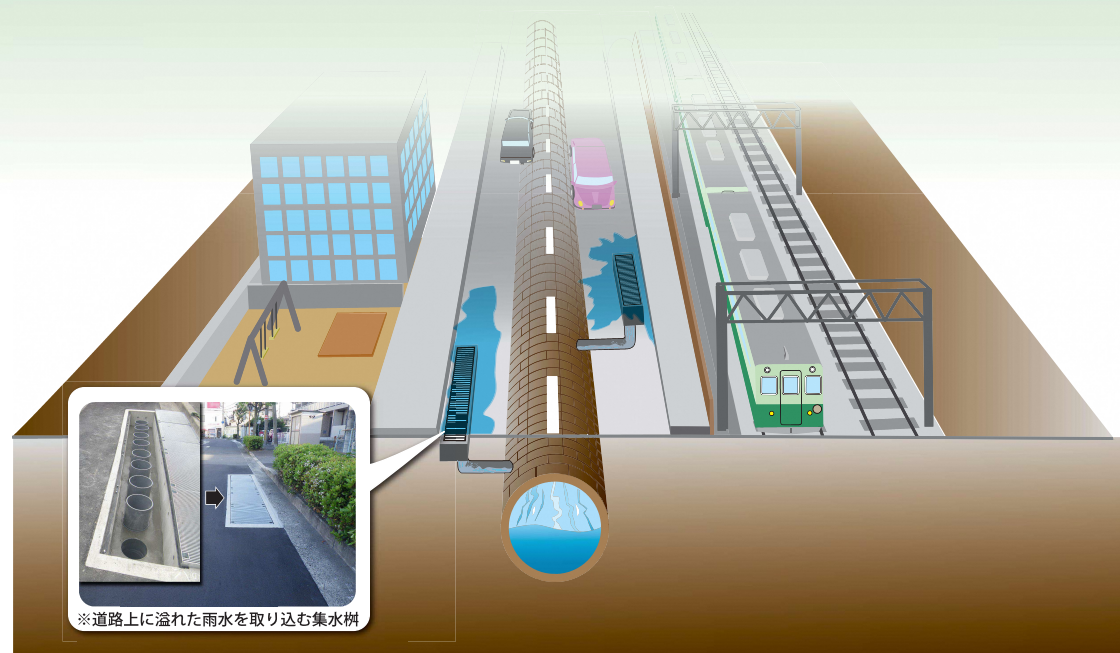
郵便番号：〒573-1030
住 所：枚方市中宮北町 20-3
電話番号：072-848-4199（代表）

枚方市上下水道局ホームページ <https://www.city.hirakata.osaka.jp/site/suidou/>

※浸水対策の取り組みについては、枚方市のホームページからご覧いただけます。
<https://www.city.hirakata.osaka.jp/site/suidou/sinnsuitaisaku.html>

大雨からまちを守ります

下水道浸水被害軽減総合計画 （蹠跽排水区）



雨水を貯めてまちを
浸水から守る計画だよ

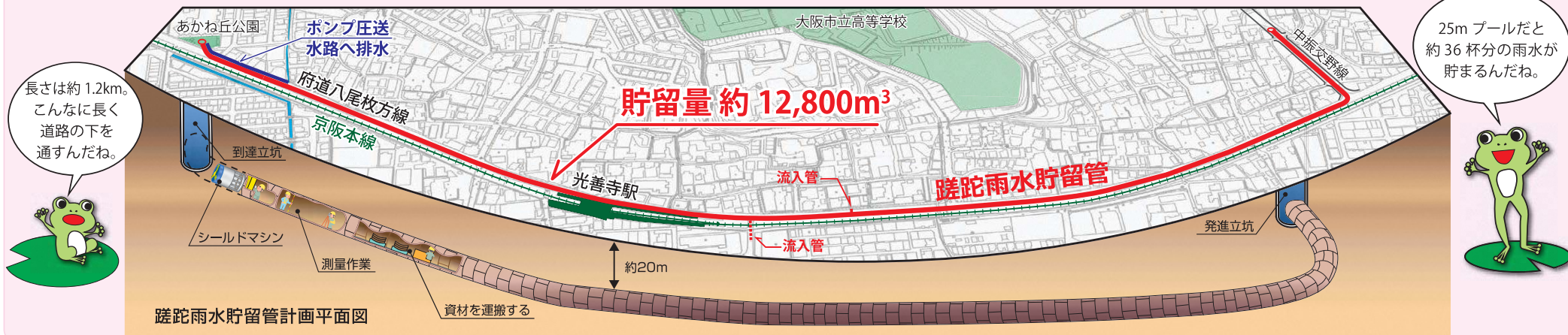


枚方市 上下水道局 上下水道事業部

雨水貯留施設の概要

① 蹠跏雨水貯留管

府道八尾枚方線道路下に、貯留量約 12,800m³ (内径 3.5m、距離約 1.2 km) の貯留管を平成 28 ~ 30 年度にかけて築造します。

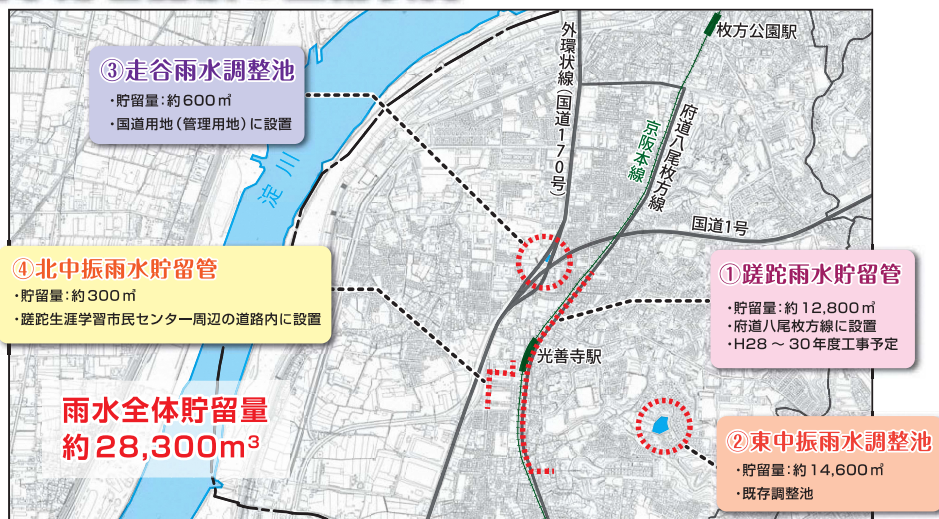


事業計画の背景

平成 24 年 8 月 14 日、枚方市時間最大雨量となる 108.5mm の集中豪雨を記録し、中振地区などにおいても、時間最大雨量 107.0mm (中振消防出張所) の集中豪雨を受け、家屋の浸水や道路冠水の被害が多数発生しました。

中振地区などでは、過去にも度重なる浸水被害が発生し、このような背景から上下水道局では浸水被害を軽減するため策定した「下水道浸水被害軽減総合計画(蹠跏排水区)」に基づき、雨水貯留施設の整備を進めています。

雨水貯留施設の整備状況



② 東中振雨水調整池

既存調整池を利用した貯留量約 14,600m³ の雨水調整池が平成 28 年 3 月に完成しました。



東中振雨水調整池



もうすでに雨水貯留施設として活躍してるんだね。

④ 北中振雨水貯留管

掘進機を使用して貯留量約 300m³ の貯留管が平成 28 年 5 月に完成しました。



③ 走谷雨水調整池

国道 1 号と外環状線(国道 170 号)の交差部の国道用地に、貯留量約 600m³ の調整池が平成 28 年 5 月に完成しました。



走谷雨水調整池上部

地上 ↑ 地下 ↓



走谷雨水調整池内部